

と、又大日本國誌此の事をいふ、記して後考を俟つ。

境内神社

若宮神社 稻荷神社
山祇神社 宗像神社

白鳥神社 白山神社 八雲神社
琴比羅神社 猿田神社 石神社

例 祭 日 十一月三日

神饌幣帛料供進 明治三十九年十二月二十五日
指定年月日 告示第二百五拾九號

會計法適用 明治四十一年十月二十三日
指定年月日 告示第三百拾四號

氏子戸數 百五十二戸
崇敬者員數

○千葉縣安房國安房郡議町南朝夷

郷社

高家神社

祭神

天照皇大神 御氣津神 御道根神
阿須波神 波比岐神

創立年代詳ならず、但、延喜の制式内の小社に列せられ、當國六座の一に坐す、御神體は天照皇大神木像にあ
らせらる、明治六年九月、郷社に列す、社殿は本殿及び拜殿、境内は三百四十五坪、官有地第一種たり。
因みに記す、祭神中阿須波、波比岐の兩神は未社荒神社祭神にして明治二十六年五月の合併に係らせらる。

境内神社

山神社 八雲神社

琴平神社

大杉神社

稻荷神社

例 祭 日 九月十六日

神饌幣帛料供進 明治三十九年十二月二十五日
指定年月日 告示第二百五十九號

會計法適用
指定年月日

氏子戸數 三百四戸
崇敬者員數

○千葉縣安房國安房郡大山村大字平塚

郷社

高倉神社

祭神 日本武尊

創立年代詳ならず、但、仁孝天皇天保十一年二月十九日、神祇伯正一位の神位と高倉神社の號とを奉れりと
云ふ、古來一村の崇敬社にして、明治六年九月、郷社に列す。
社殿は本殿一字、境内は九十坪、官有地第一種たり。

例 祭 日 九月九日

神饌幣帛料供進 明治三十九年十二月二十五日
指定年月日 告示第二百五十九號

會計法適用 明治四十一年十月二十三日
指定年月日 告示第三百拾四號

氏子戸數 千六百五十六人
崇敬者員數